

# ～次世代モビリティの社会実装を目指して～ **Map-NAGOYA**について



2025年2月13日

中部経済連合会  
社会実装推進部

## ▶中部経済連合会(広域経済団体)の役割 :

中部圏の産業振興に向け、各種のやり方※で社会実装を牽引

※意見集約・提言、機運醸成(シンポジウム等)、連携組織の構築・運営・活動  
(プラットフォーム等)、等



## ～次世代モビリティ(陸モビリティ&空モビリティ)～

## ▶目指している事 :

モビリティ産業のエコシステム化に向け、産官学の共創連携を推進め、引き続き中部圏が中心地であること

# これまでの取り組み@2021.5~2024.12(3.5年間)

## 中部先進モビリティ実装プラットフォーム (CAMIP) 設立@2021



キックオフイベント (2021年5月)  
(森川教授 水野会長 松尾機構長 佐々木副会長)

**中部先進モビリティ実装プラットフォーム**  
Chubu Advanced Mobility Implementation Platform  
**CAMIP**

自動車産業の世界的中心地、中部圏において  
・CASE/MaaS革命を地域に実装し社会に還元  
・研究開発促進のための産学官プラットフォーム構築

3つの取り組み

- ① 地域や風土に応じた「モビリティまちづくり」の企画・設計
- ② 「モビリティまちづくり」を社会実装し、パッケージを進化
- ③ ビジネスモデルや要素技術を自らイノベーション

中経連会員企業、自治体、大学、研究機関が連携、組織マッチングやモビリティ共通基盤の開発を実施(幹事役は中経連と名大モビリティ社会研究所)

自治体 A

実装PJ A

自治体 B

実装PJ B

自治体 C

実装PJ CD

自治体 D

実装PJ CD

● 各地域の特性にあわせた実装プロジェクトの遂行  
● 共通基盤の構築

- ▶ 共通基盤モビリティ
- ▶ 結節点基本仕様
- ▶ エネルギー供給システム
- ▶ 共有データ基盤

中部先進モビリティ実装プラットフォーム

民間企業 名古屋大学、名古屋工業大学、豊橋技術科学大学、岐阜大学、静岡大学、愛知県立大学、名城大学、大同大学、豊田都市交通研究所

幹事役 名古屋大学

## Map-NAGOYA 開催開始@2022



### Map-NAGOYA「モビリティ」(2024年2月29日)



### 【シンポジウム、ピッチの実績】

イベント名	開催日	テーマ
NAPP #1	2021.04.07	Mobility & Sustainability
CENT Pitch 拡大版#1	2021.07.14	(全国の大学発スタートアップ紹介)
NAPP #2	2021.08.19	Mobility & Carbon Neutral
CENT Pitch 拡大版#2	2021.11.11	(東海地方のスタートアップ紹介)
CAMIP #2	2021.11.02	モビリティプロジェクト紹介
NAPP #3	2021.12.15	Mobility & Carbon Neutral
CAMIP #3	2022.03.10	静岡における「MaaS×情報銀行」
CAMIP #4	2022.12.21	COI-NEXTの紹介 モビリティ関係の技術・シーズ紹介
Map-NAGOYA#1	2022.12.21	モビリティ関係の技術・シーズ紹介
CAMIP #5	2023.03.14	MaaSに関する講演 (牧村和彦氏)
Map-NAGOYA #2	2023.03.23	モビリティ関係の技術・シーズ紹介
Map-NAGOYA #1	2023.08.10	モビリティ関係の技術・シーズ紹介
CAMIP #6	2023.10.10	電動化に関する講演 (寺師茂樹氏)
Map-NAGOYA #2	2024.02.29	モビリティ関係の技術・シーズ紹介
CAMIP #7	2024.03.27	次世代空モビリティをテーマ化
Map-NAGOYA #1	2024.8.22	モビリティ関係の技術・シーズ紹介
CAMIP #8	2024.11.22	次世代空モビリティ_ユースケース

※NAPP: Map-Nagoyaの前身の中経連主催のマッチングイベント

## 2021.5にCAMIPを立上げ、活動を本格化

- シンポジウム 8回(2回/年)
- ピッチ 10回(2~3回/年) → 内 **Map-NAGOYA 5回開催**  
(中経局MEET UP CHUBUとの共催)

⇒ CAMIPの意義を発信し、認知を得ると共に活動体の規模を拡大(~数千名)

## 社会実装を加速すべく、COI-NEXT\_Prg.※に幹事機関として参画@2022

※COI-NEXT\_Prg. : JSTの「共創の場支援プログラム」の事で、産学官共創拠点形成を目指すもの。名古屋大学\_モビリティ社会研究所は、「地域を次世代につなぐマイモビリティ共創拠点」をテーマに採択(@2022)

### 地域を次世代につなぐマイモビリティ共創拠点



自動車産業界も含めて、抱える各種の社会課題対応に取り組むCOI-NEXT\_Prg.に参画

CAMIPの活動の中で、課題対応に紐づく「地域モビリティシステム」の社会実装に向けた活動にも着手・推進

※CAMIPシンポジウムはこれまでCOI-NEXT\_Prg.と8回共催

## ▶Map-NAGOYAの目的 :

次世代モビリティに関わるシーズ技術情報の発信、及び  
産官学共創連携を目指したマッチング

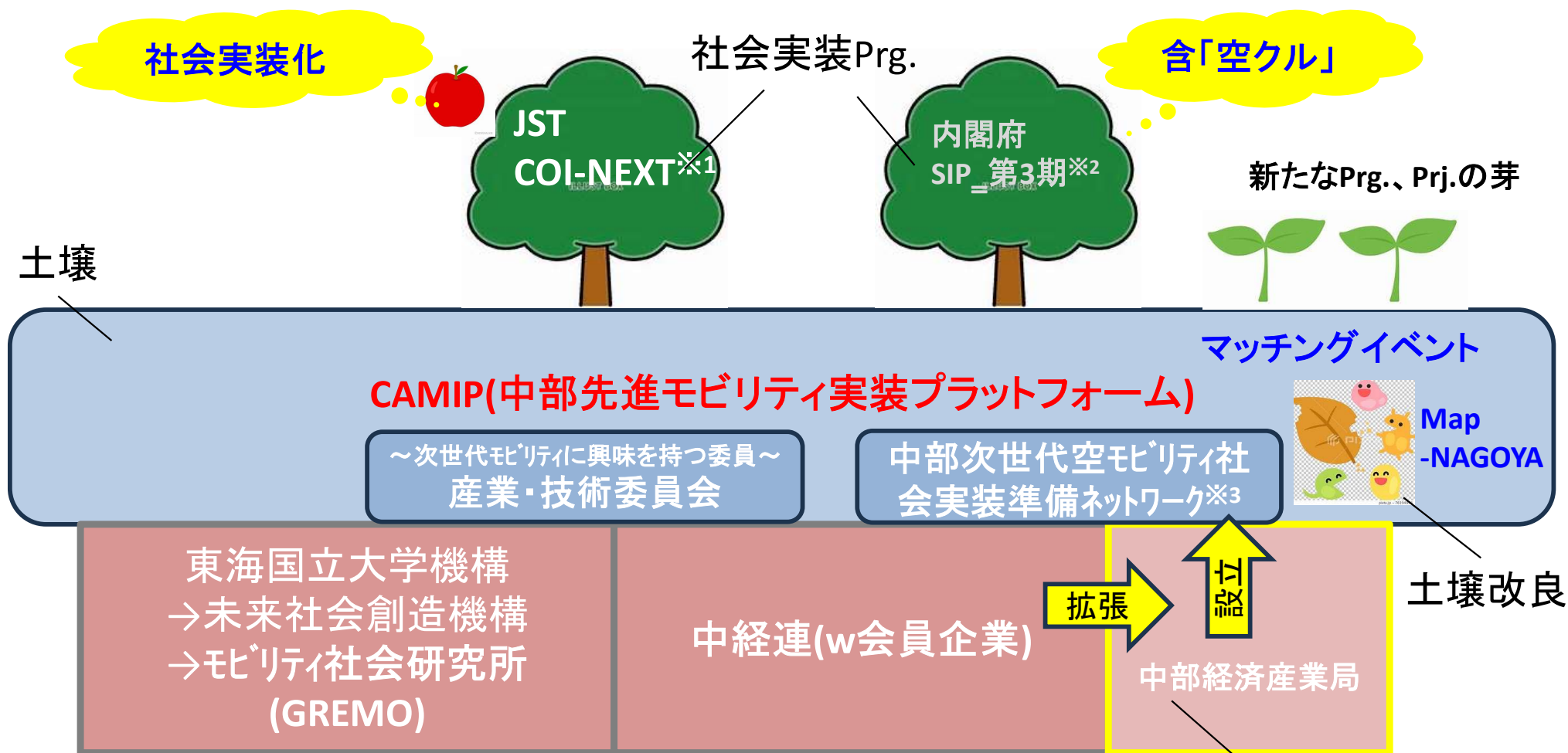
## ▶これまでの活動 :

～CASE, MaaS等を背景とした100年に一度の大変革時代～

陸モビリティを中心に、クルマの進化、更には新たなモビリティ  
創出に関わるシーズ技術情報を中心に発信

## ▶今年度の活動 :

空モビリティの領域にも拡張して、シーズ技術情報を発信



※1: テーマ「地域を次世代につなぐマイモビリティ共創拠点」@2022年10月採択

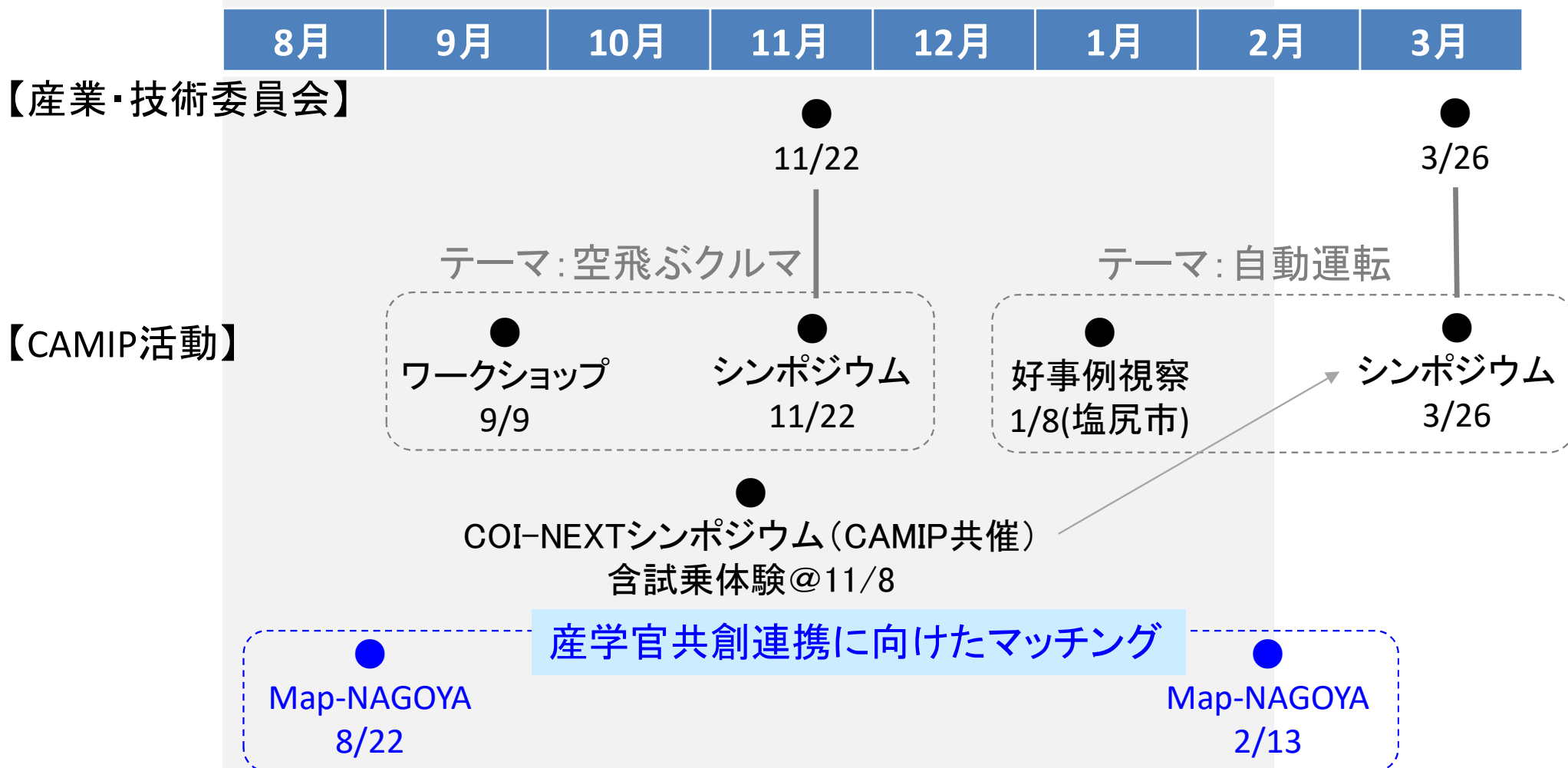
※2: テーマ「先進的モビリティシステムを活用したスマート・ディストリクトの構築」@2023年10月採択

※3: 「中部次世代空モビリティ社会実装準備ネットワーク」立上げ@2023年10月

昨年度後半にCAMIPの活動領域を、『空モビリティ』にも拡張  
⇒中部経済産業局主導の「中部次世代空モビリティ社会実装準備ネットワーク」に参画

# 今年度の取組み

共創連携マッチング、シンポジウムに加え、新たな企画(ワークショップ、好事例視察)を興し、産学官民メンバー様との双方向コミュニケーションを積極的に図る  
⇒ ご意向を踏まえた活動として反映する (機運醸成、社会受容性獲得に繋げる)



※青字:MEET UP CHUBU共催